

教育＝研究・研修

私のことですが、長い教員生活の中で、ひとつだけ続けてきたことがあります。大学時代学んだ動物生態の研究です。研究を続けるきっかけを与えてくれ、それを続けることができたのは、教育会のおかげです。新卒の時から、教育会の動物委員会に所属させてもらい野外に出て動物生態の研究を続けてきました。

初めての学校で、授業も満足にできないのに、何でこんな余分なことをと何回も思いましたが、理科の授業で動物や植物のことは、自信を持って教えることができるようになりました。学生時代研究室の先生が、「研究＝教育」であると、口癖のようにいっていましたが、その時、その意味がやっと分かりました。教師が自ら研究・研修することが、教えることにつながるのです。子どもたちは、その姿から学ぶのです。小県上田教育会は、教師が自ら研究・研修する場を提供してきました。

教育会には、授業力を高める勉強になる委員会や講座、自分の専門を深めることができる委員会や講座があります。今年の夏季大学には、3日間で1151名の参加がありました。そのうち70名が一般の参加者です。小県上田教育会は、平成23年4月より「公益財団法人小県教育会」になりました。公益財団法人としての役割も果たすことができ、大変うれしく思っております。

小県上田教育会では、耐震性に問題のある教育会館の会議棟を改築します。来年の始めには、現在の会議棟を解体し、4月に着工となります。来年、秋には、新しい研修の場が完成する予定です。これから改築に向けての準備にはいります。教育会館を利用されるみなさまには、しばらくの間ご不便をおかけしますがよろしく願いいたします。

平成27年度小県上田教育会長 関谷 圭史（塩田西小学校）